

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 自己免疫性胃炎合併胃癌の臨床病理学的特徴

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院 光学医療診療部・小野 尚子

[研究の目的] 自己免疫性胃炎に合併する胃癌の特徴を明かにすること

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2003年1月1日から2025年12月31日の間に北海道大学病院 消化器内科で自己免疫性胃炎合併の胃がんまたはピロリ感染胃がんの診断を受け、内視鏡検査時や手術時に検体を切除した、診断時に20歳以上の方のうち、下記のいずれかの研究に参加し検体の保管・将来の研究への利用について同意を得ている方

- ・除菌後発見胃癌の臨床病理学的特徴と臨床経過についての検討  
（実施期間：2017年1月25日～2021年12月31日）
- ・自己免疫性胃炎の臨床病理学的検討  
（実施期間：2019年4月17日～2020年6月30日）
- ・北海道大学病院 消化器内科 内視鏡グループ：診療目的で採取された血液・組織・消化管廃液や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用について（実施期間：2023年11月20日～2030年3月31日）

○利用する検体・情報

\*2003年1月1日から2025年12月31日までのカルテ情報を収集します。

検体：手術または内視鏡検査時に切除された胃がん組織の一部、胃粘膜

情報：年齢、性別、診断名、合併症、血液検査結果やピロリ菌検査結果、内視鏡画像や病理組織診断結果など

[研究実施期間]

実施許可日（検体・情報の利用開始：2026年4月頃）～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定

2026年3月4日（第1.1版）

できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は、2027年6月30日までに以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 光学医療診療部

担当医師 小野尚子

電話 011-716-1161（内5756）

FAX 011-706-7867